

水稻生育情報 (No.6)

令和3年7月27日
茨城県西農林事務所経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

5月から7月第4半旬までの気象は、日平均気温が平年より0.4℃高く、降水量は平年比99%、日照時間は平年比92%でした。

「コシヒカリ」の生育状況を表1に示します。草丈は平年並み、茎数及び葉色は調査地点によってバラツキがあります。出穂予測日は、平年比-1日～+4日と調査地点によってバラツキがあるものの、概ね過去5カ年と同等です。

表1 水稻定点調査結果 (7月20日現在：コシヒカリ)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色 葉色版	SPAD値	幼穂長 mm	出穂予測日 (月/日)
筑西市	5月6日	56	91	406	3.7	34.3	83	7/31
一本松	(5月2日)	(55)	(96)	(458)	(4.1)	(33.1)	-	(7/27)
下妻市	5月1日	48	100	452	3.9	35.0	出穂始め	7/25
加養	(5月1日)	(49)	(96)	(470)	(3.5)	(32.8)	-	(7/25)
桜川市	5月8日	50	94	532	3.5	32.8	137	7/29
真壁町飯塚	(5月5日)	(52)	(93)	(431)	(3.6)	(31.3)	(127)	(7/30)

()内は平成28～令和2年の5カ年平均値

注)出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

【これからの栽培管理のポイント】

・乳白粒発生を軽減するための水管理について

高温登熟による乳白粒、胴割粒等の発生を防止するため、間断かん水を実施しましょう。出穂期以降の間断かん水は右図のように入水と自然落水を交互に繰り返します。

出穂してから最低30日間は間断かん水を行い、イネの根に水と酸素を供給して下さい。

入水時期の目安は、田面に触れると「湿り気を感じる程度」から「水が付着する程度」です。田面が乾きすぎないように十分注意しましょう。

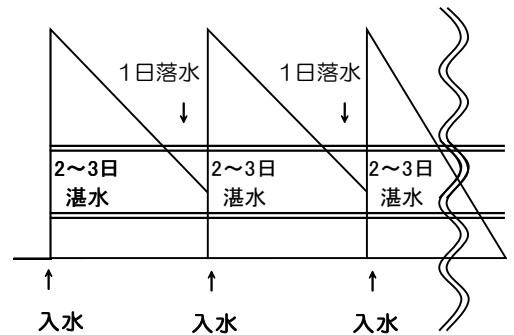


図 出穂期以降の間断かん水

・適期収穫について

早刈りは千粒重が軽くなり、収量を低下させるとともに、玄米への青未熟粒の混入割合が増えて、落等要因となることがあります。逆に刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米・着色粒の発生が増えて、早刈りと同じく落等要因になりえます。適期収穫を心がけましょう。

ほ場で直接籾の色(帯緑籾率)を確認して適期収穫に努めて下さい。収穫適期は帯緑籾率が10～5%程度(一穂あたり約6粒前後)の時です。



コシヒカリ

帯緑籾率 (%)	成熟期前日数
55	11
30	8
25	6
20	4
15	2
10	適期(0)
5	適期(-4)
3	刈り遅れ